

訪問リハビリテーション

安心、安全にその人らしい在宅生活が
継続できるように支援します。

介護
医療
利用条件あり



訪問リハビリテーションとは、専門の療法士がご自宅へ訪問し、身体機能の向上や生活の基本動作等を訓練するリハビリテーションをご提供するものです。

住み慣れた環境で、自分でできることやご家族・地域とのかかわりを増やすことで、生活の範囲を広げ、豊かな生活を送ることができるよう支援いたします。

【ご提供サービス案内】

- ・ 歩行や立ち座りなどの機能訓練
- ・ 麻痺や褥瘡解消のためのマッサージ
- ・ 食事、排泄、着替えなどの生活動作訓練
- ・ 福祉用具・住宅改修に関する相談指導
- ・ ご家族へ介助方法の相談指導

お問い合わせ

時間 平日 9:00~17:00
TEL 0138-65-8879 (直通)
FAX 0138-65-8611 (直通)
担当 医療相談室

尿検査で分かること！

尿検査といえば、職場の健康診断や病院を受診した際に受けたことがある人は、多いのではないのでしょうか。今回は、尿検査について臨床検査技師が説明します。



項目	検査の説明
pH	体の状態や食事によって酸性やアルカリ性に傾く場合があります。 酸性が続く場合：糖尿病や痛風などが疑われます。 アルカリ性が続く場合：膀胱炎などが疑われます。
タンパク 蛋白	泌尿器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）の疾患や発熱、過剰な運動などで陽性になることがあります。
糖	糖尿病など血糖値に異常をきたす病気や、疲労感・ストレスを感じている場合に陽性になることがあります。
ケトン体	体の脂肪を分解してエネルギーを作るときに出現します。 栄養が足りないときや糖を上手く利用できない糖尿病などで陽性になることがあります。
ビリルビン	肝臓や胆のう等のトラブルにより、陽性になることがあります。
潜血反応	泌尿器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）の炎症などで陽性になることがあります。
ウロビリノーゲン	古くなった赤血球が代謝されるとき、尿中に出現します。 特に病気の無い方でも出現するため、基準値は弱陽性（±）です。 陽性のときは、肝疾患や赤血球が壊れやすい状態などが疑われます。 陰性のときは、胆道が閉鎖している状態などが疑われます。
尿比重	水分の摂取量や食事の成分などにより、日常的に変動します。 高値のときは、脱水症などが疑われます。 低値のときは、水分過剰摂取などが疑われます。
白血球反応	膀胱炎などの尿路感染で陽性になることがあります。

尿検査は、専用の試験紙を尿に浸し、色の変化から様々な病気やその兆候を知ることが出来る検査です。尿検査で分かることを表に記載しましたので、よろしければ参考になさってください。

私たち臨床検査技師は、患者さまに安心して検査を受けてもらえるよう日々努めて参ります。検査に関して何かお困りごとがございましたら、お気軽にご相談ください。

検査科 臨床検査技師 高橋